



第 27 号

R2.12.18

文責 倉迫

建学 145 年

第 2 学期人権学習

12 月は、校内人権週間です。各学年の年間計画と子どもたちの実態に合わせて人権学習を進めます。各学年の実践や子どもたちの反応をお知らせします。

前回同様、①教材名 ②学習内容 ③子どもの反応 の順です。

6年生

- ① わたしのせいじゃない～いじめを断ち切る正義～ (道徳科)
- ② 「わたしのせいじゃない」と言っている子どもたちの考えから、

いじめに対する傍観者としての無責任な気持ちが、いじめを生んでいることを理解し、いじめを断ち切るために社会正義を貫こうとする態度を育てる。いじめの原因は、どこにあるのか。14 人の子どもたちの言動はどうか、問題はどこにあるのか、どんな行動をとればよかったのか、自分たちの学級ではどうか、同じような状況を招かないために自分にできることは何なのかなどを考えた。

- ③初めは、自分でもなかなか友達に注意したり、困っている友達に寄り添ったりすることができないかもしれないという意見が多かったが、教材の状況を自分たちの学級で起きていたらどうかということを考えて話し合っていく中で、見ていたり知らないふりをするのもいじめをしていることと同じだという思いを強く持つようになった。「自分たちのクラスでは、こんなことがないように一人一人の存在を大切にしていきたい」や「直接注意できなくても、困っている友達に寄り添う行動や言葉かけをしたり、先生に知らせたりしていじめを許さない雰囲気を作っていきたい」などの意見がでた。

※「いじめの構造」について、よく理解しています。大切なことは、実行に移せるかどうかです。

5年生

①すれちがい (道徳科の教材です)

②よし子とえり子は、ピアノ教室に行く待ち合わせをしていたが、すれちがいがあり、仲が悪くなってしまふ。よし子とえり子の日記を分けて読むことで、それぞれの立場があることに気付かせ、仲が悪くならないために大切なことについて話し合った。教材の中の具体的な話から考えることで、相手の立場を考えることが大切というこの授業のテーマに迫る意見がたくさん出されていた。さらに、そこから自分たちの生活や経験に置き換え、これから生活していくうえで大切にしたいことを出し合うことができた。

③ ○相手への思いやりをもって生活していきたい。相手のことを信じる心の広い人になりたい。

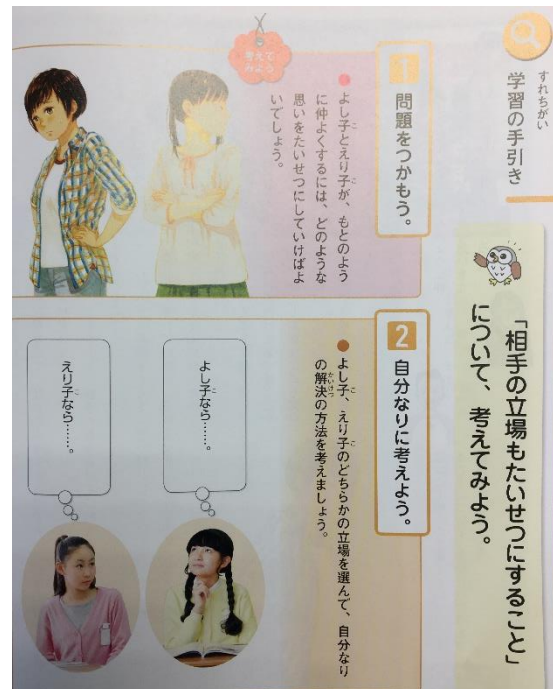
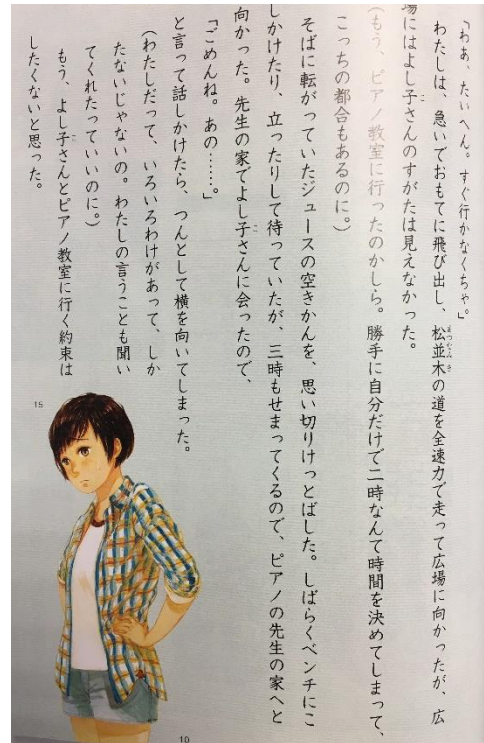
○友達が言ったとおり、人の立場を考えることは本当に大事な。

○私は相手の都合をあまり考えないから、考えられる人になりたい。

○自分もたまに自分の事しか考えない時があって、怒る時があるので、この話を聞いて自分の事だけじゃなく相手のことも考えたい。

○私は何でも自分の都合が悪いことが起きると「なんで私ばかり！」と思ってしまうことがあるけど、今度からは相手の気持ちを考えて相手に優しく接したい。

○昔喧嘩をしたとき、自分は悪くないと思っていたけど、今回の学習で相手のことも考えられると、いいということがわかりました。理由は、相手の悪い所ばかり考えると、自分は悪くないと考えたり、自分の悪いのをもっと認められなくなるので、相手のいい所もしっかり見つけてから、相手の気持ちを考えたり、自分が悪いこととかは気を付けたい。



※5年生の子どもたちは、自分に正直です。また、学習したことで自分自身をしっかり振り返ることができます。だから、一回りも二回りも心を大きくして成長することができますね。